

予算特別委員会記録

1. 日時 令和6年9月4日(水)
午前10時25分 開会
午前11時02分 閉会
2. 場所 白鷹町役場 議場
3. 議題 (1) 議第72号 令和6年度白鷹町一般会計補正予算(第3号)について
(2) 議第73号 令和6年度白鷹町介護保険特別会計補正予算(第2号)について
(3) 議第74号 令和6年度白鷹町水道事業会計補正予算(第1号)について
(4) 議第75号 令和6年度白鷹町下水道事業会計補正予算(第1号)について
(5) 議第76号 令和6年度白鷹町立病院事業会計補正予算(第1号)について

○出席委員(11名)

2番	衣袋正人	委員	3番	横山和浩	委員
4番	竹田雅彦	委員	5番	佐々木誠司	委員
6番	丸川雅春	委員	7番	金田悟	委員
8番	笹原俊一	委員	9番	山田仁	委員
10番	関千鶴子	委員	11番	今野正明	委員
12番	遠藤幸一	委員			

○欠席委員(なし)

○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町長	佐藤誠七
副町長	田宮修
教育長	衣袋慶三
総務課長	長岡聡

税務出納課長	高	橋	浩	之
企画政策課長	加	藤	和	芳
町民課長	大	木	健	一
健康福祉課長	永	沢	照	美
商工観光課長	黒	澤	和	幸
農政課長併 農業委員会事務局長	橋	本	秀	和
林政課参与 (兼)課長	永	野		徹
建設課長	菊	地		智
上下水道課長	鈴	木	克	仁
病院事務局長	片	山	正	弘
教育次長	橋	本	達	也
監査委員	小	谷	部	仁
総務課長補佐兼 財政係長	鈴	木	秀	昭
総務課長補佐兼 総務係長	梅	津	友	宏

○職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	小	林		裕
補佐	大	瀧	勇	祐
書記	竹	田	雅	紀子

開 会

〈午前10時25分〉

○開会の宣告

○委員長（山田 仁） ご参集、誠にご苦労さまです。

これより予算特別委員会を開会いたします。

出席委員は全員であります。

定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日開催の第4回白鷹町議会定例会本会議において、本委員会に付託された令和6年度白鷹町一般会計補正予算（第3号）外4件の補正予算について審議を行います。

審査の方法は、お手元に配付の補正予算審査文書表のとおり、一般会計から順に、令和6年度補正予算説明書の概要により説明を受け、一問一答形式で審査を行った後、議案番号順にそれぞれ採決したいと存じますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○委員長（山田 仁） ご異議がないので、そのように進めることに決しました。

なお、質問される方、答弁なさる方は、それぞれ簡潔明瞭にされますよう申し添えます。

また、質問される方はページを示してください。

○議第72号の説明、質疑

○委員長（山田 仁） それでは、議第72号 令和6年度白鷹町一般会計補正予算（第3号）についてを議題とします。

初めに、補正予算説明書の概要について説明を求めます。長岡総務課長。

○総務課長（長岡 聡） ご説明申し上げます。

令和6年度補正予算説明書の概要をご覧ください。

2ページをお開き願います。

初めに、一般会計の概要を申し上げます。

今回の補正につきましては、令和6年10月から拡充される児童手当への対応をはじめ、ふるさと森林公園再整備の基本設計着手や新型コロナウイルスワクチン定期接種の実施、公共施設の老朽化対策など、緊急性の高い事業について対応したものでございます。そのほか、人事異動等に伴います人件費の調整、さらには将来の財政需要等に備えた財政調整基金への積立て、次年度に向けた債務負担行為の設定を行ったものでございます。

初めに、歳入でございます。

款、補正額、主な内容についてご説明申し上げます。

9款地方特例交付金、103万7,000円の減額。令和6年度の算定結果に基づく調整で

ございます。

14款国庫支出金、1億1,431万7,000円。児童手当負担金2,516万2,000円、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金4,480万5,000円、介護保険事業費補助金200万円、子ども・子育て支援交付金778万4,000円、子ども・子育て支援事業費補助金466万6,000円、新型コロナ定期接種ワクチン確保事業に対する助成事業2,946万5,000円などがございます。

県支出金、1,680万5,000円。児童手当負担金304万1,000円、放課後児童健全育成事業332万9,000円、保育対策等促進事業129万3,000円、畑地化促進事業615万7,000円、地域計画策定推進緊急対策事業77万8,000円、持続的畑作生産体制確立緊急支援事業78万円、トイレ整備支援事業費補助金73万4,000円などがございます。

寄附金、80万円。観光費寄附金でございます。

18款繰入金、1,000万円。公共施設整備基金の繰入れでございます。

繰越金、1億6,591万5,000円。

20款諸収入、110万円。自動車損害共済金でございます。

21款町債、1,520万円。上水道事業出資債140万円、過疎対策事業債140万円、緊急自然災害防止対策事業債370万円、災害復旧事業債800万円などがございます。

歳入合計、3億2,310万円。

続きまして、歳出でございます。

共通事項といたしまして、人件費2,657万4,000円の減額。人事異動等に伴う人件費の調整でございます。

続きまして、款別の概要を申し上げます。

総務費、9,767万3,000円。共通事務費176万6,000円、郵便料改定に対応するための追加計上でございます。財産管理費391万9,000円、施設補修等を行うための対応でございます。総合調整費100万円、事業の推進、総合調整に対応するための調査費の追加計上でございます。町誕生70周年記念事業60万円、記念イベント等業務の追加計上でございます。財政調整基金費1億円、将来の財政需要に備えた元金積立ての対応などがございます。

続きまして、3款民生費、1億1,294万9,000円。低所得者支援及び定額減税補足給付事業4,480万5,000円、新たな経済に向けた給付金、定額減税一体措置への追加の対応でございます。地域生活支援事業108万6,000円、訪問入浴サービス事業の追加の計上でございます。介護保険特別会計繰出金117万1,000円の減額、事務費繰出金、人件費等の調整の対応でございます。認知症施策推進計画策定準備事業200万円、認知症施策推進に向け、住民の理解促進、認知症の人、家族等からの意見聴取等への対応でございます。

次のページをご覧ください。

児童福祉総務費2,847万3,000円、国県費の過年度償還金への対応でございます。児童手当支給事業3,126万円、児童手当拡充への対応でございます。放課後児童健全育成事業998万8,000円、運営単価改定への対応でございます。3款につきましては、このようなものでございます。

続きまして、4款衛生費、4,222万3,000円。白鷹町新型コロナウイルスワクチン接種事業4,297万円、新型コロナウイルスワクチン定期接種への対応でございます。病院事業費310万5,000円、児童手当拡充、基礎年金拠出金に係る公的負担への追加対応でございます。水道整備費134万円、人件費等への調整、管路耐震化事業に対する出資金追加への対応、これらの事業などでございます。

続きまして、6款農林水産業費、2,310万円。畑地化促進事業615万8,000円、産地形成に取り組む事業主体が畑地化する際、伴う費用に対する助成の対応でございます。持続的畑作生産体制確立緊急支援事業78万円、需要に応じた供給体制の構築に向け、大豆の安定生産に要する経費に対する助成の対応でございます。緊急自然災害防止事業375万円、林道の災害防止対策に必要な経費の対応の事業などでございます。

続きまして、7款商工費、2,682万9,000円。情報産業拠点施設費139万円、ソフト小村の施設補修への対応でございます。観光費110万円、寄附金を活用いたしました古典桜の保全事業等への対応でございます。ヤナ公園管理事業65万8,000円、施設修繕及びアユ漁獲量拡大のための追加対応でございます。ふるさと森林公園整備事業2,590万円、ふるさと森林公園の再整備に向けた基本設計等への対応でございます。観光協会振興事業費116万8,000円、観光協会振興交付金の追加対応でございます。創業支援事業100万円、創業支援事業費補助金の追加計上でございます。これらの事業などでございます。

続きまして、8款土木費、419万2,000円の減額。除雪事業360万円、消耗品の追加計上でございます。公園事業費247万2,000円、各公園の環境整備への対応でございます。住宅管理費139万2,000円、施設修繕等を行うための対応でございます。子育て支援及び若者定住促進住宅整備事業150万7,000円、相続財産管理人選任のための予納金への対応でございます。子育て支援住宅設備改修事業143万円、子育て支援住宅設備改修への追加対応でございます。これらの事業などでございます。

次のページをご覧ください。

9款消防費、135万円。災害対策費135万円、災害用ラップ式トイレ導入への対応でございます。

10款教育費、1,030万4,000円。スクールバス運行管理等費110万円、修繕を行うための対応でございます。小学校管理費325万3,000円、施設修繕を行うための対応でございます。中学校管理費107万4,000円、施設修繕への対応、中体連等活動費補助金の追加計上でございます。保健体育施設費153万7,000円、施設修繕を行うための対応でございます。学校給食共同調理場費73万7,000円、調理場備品購入への対応でございます。

これらの事業などでございます。

11款災害復旧費、1,256万5,000円。農地災害復旧事業費61万1,000円、鮎貝排水機場の修繕等への対応でございます。林業豪雨災害復旧事業費1,046万1,000円、令和6年豪雨災害への対応でございます。道路河川豪雨災害復旧事業費150万円、こちらも令和6年の豪雨災害への対応でございます。これらの事業などでございます。

12款公債費、7万3,000円。元金償還額の調整でございます。

歳出合計、3億2,310万円。

以上でございます。

○委員長（山田 仁） 説明が終わりました。

歳入歳出一括して質疑を行います。6番、丸川委員。

○6番（丸川雅春） 3点ほど伺いたいと思います。

まず、歳入であります。17款寄附金にあります観光費寄附金、観光に特化されているようではありますが、内容について伺いたいと思います。

○委員長（山田 仁） 黒澤商工観光課長。

○商工観光課長（黒澤和幸） お答えいたします。

寄附金につきましては、具体的にはキリンビール株式会社さんが販売しております一部の商品の販売報酬に連動いたしまして、寄附金額を定めまして、希望する市町村に寄附をするという活動の一環でお受けするものでございます。

概要といたしましては、お花見ですとか、花火大会といった日本の風物詩を未来につないでいくために、市町村が行う保全活動等への支援をするというような目的でございます。その第1弾といたしまして、桜の保全活動に使っていただきたいということで寄附をいただくものでございます。

以上でございます。

○委員長（山田 仁） 丸川委員。

○6番（丸川雅春） 寄附期間というものは、もう80万円で終わりといいますか、その期間について伺いたいと思います。

○委員長（山田 仁） 黒澤商工観光課長。

○商工観光課長（黒澤和幸） お答えいたします。

この金額につきましては、先ほど申し上げたとおり、販売本数に連動してということで、年度内で3回に分けていただけるということでお話をいただいております。おおよその目安として提示されている金額でございます。

○委員長（山田 仁） 丸川委員。

○6番（丸川雅春） 続きまして、概要書の4ページ、6款農林水産業費において、緊急自然災害防止事業ということで、林道防災ということで、この路線の防災についてはどのような背景があって、このような防災対策を行うのか、伺いたいと思います。

○委員長（山田 仁） 永野林政課長。

○林政課参与（兼）課長（永野 徹） お答えいたします。

今回の緊急自然災害防止対策事業については、林道の黒鴨線と、あと大石沢線で、経年で、非常に大雨災害とかあって、法面が一部崩れ始めているところがあるということで、黒鴨線、大石沢線、1か所ずつ、ここについては今後、大雨が降ると林道が崩壊すると、そういうことを防止するために、緊急にそこだけ直していきたいという形で、今回はあくまでも測量設計までということで、今後それが終われば工事を進めていきたいと考えておるところでございます。

○委員長（山田 仁） 丸川委員。

○6番（丸川雅春） 災害復旧には当てはまらないのでしょうか。款項目、農林水産業費ということで、災害復旧と考えてもよろしいか、伺いたいと思います。

○委員長（山田 仁） 永野林政課長。

○林政課参与（兼）課長（永野 徹） これについては災害復旧というか、経年の状況を見て直していくという形になりますので、ちょっと災害復旧という形にはならないかなと思っております。

○委員長（山田 仁） 丸川委員。

○6番（丸川雅春） 最後であります、5ページの7款商工費、創業支援事業、こちらにおきましては当初予算にも100万円計上されておまして、また100万円の追加ということで、今までの経過並びに今後の予定といたしますか、追加分の内容について伺いたいと思います。

○委員長（山田 仁） 黒澤商工観光課長。

○商工観光課長（黒澤和幸） お答えいたします。

このたびの創業支援の増額につきましては、委員おっしゃるとおり、当初予算で2件分を予算化させていただいております。既にこれまで今年度分といたしまして2件の交付決定を行っております。創業が1件、それから事業後の多角化が1件というような状況でございます。また、今後におきましても、今現在1件の創業の相談を受けておまして、2件分の増額をさせていただきたいということで、上程をさせていただいたところでございます。

○委員長（山田 仁） 3番、横山委員。

○3番（横山和浩） 2点お伺いいたします。

概要の5ページをお開きください。7款商工費の2つ目、観光費についてお伺いいたします。こちら寄附金について、丸川委員から今質問があったわけですがけれども、こちらはどこかに交付あるいは補助ということになるのかなと思っておりますが、どういった団体になされるのか。そして、どのような取組を想定されているのか、お伺いいたします。

○委員長（山田 仁） 黒澤商工観光課長。

○商工観光課長（黒澤和幸） お答えいたします。

この寄附金を活用した保全事業への対応ということで、具体的には各町内に古典桜の各保存会がございますので、保存会の要望に応じまして、桜の保全等々に活用、助成をさせていただきたいと思っております。具体的には、これまでもしらたか古典桜の里推進協議会を通じまして、例年、保全活動への経費の助成などを行ってまいりましたので、そのような形でこのたびも対応させていただきたいと考えております。また、具体的な内容につきましては、それぞれの保存会さんから要望をいただいて対応してまいりたいと考えております。

○委員長（山田 仁） 横山委員。

○3番（横山和浩） 分かりました。

続きまして、概要の6ページをお開きください。9款消防費の中の災害対策費として、災害用ラップ式トイレ導入への対応ということでございます。ラップ式トイレについて、もう少し説明をいただきたいなということと、どれぐらいの台数を導入して、どのように設置されるのか、お伺いいたします。

○委員長（山田 仁） 長岡総務課長。

○総務課長（長岡 聡） お答えさせていただきます。

災害用ラップ式トイレでございますけれども、災害が発生した際に、断水や停電が生じた場合の衛生的なトイレ環境を確保するという意味から、今回ラップ式トイレにつきまして、災害のボランティアセンターや避難所への配置を想定してのラップ式トイレを導入するものでございます。

自動ラップ式トイレ2台、そして手動ラップ式トイレ7台を整備する予定でございます。自動ラップ式トイレにつきましては、排せつした後の排せつ物については、自動で袋が閉じられるようになりまして、臭いや、そういうものが出ないような形にするものでございます。さらに、手動ラップ式につきましては、排せつ後、手動で袋を圧着して、衛生状態を保っておくということで使用できるものでございます。自動ラップ式トイレの2台につきましては、県の防災資機材整備事業費補助金の10割を活用いたしまして整備をするものでございます。手動ラップ式の7台につきましては、避難所への配備を想定した形で設置をするものでございます。

また、自動ラップ式トイレにつきましては、災害ボランティアセンターでのボランティア活動の際に使用するというような形を想定しての導入ということでございます。

○委員長（山田 仁） 横山委員。

○3番（横山和浩） 分かりました。既存のトイレに設置するというよりは、新しくトイレの器材というか、そういうものを設置されるのかなと思いますけれども、車椅子であるとか、足腰の弱い方が使いやすくなるような、そういった補助をするような道具なんかもそこについているのかどうか、お伺いいたします。

○委員長（山田 仁） 長岡総務課長。

○総務課長（長岡 聡） お答えいたします。

このトイレにつきましては、何も無いところに箱型の椅子的なものを設置いたしまして、そちらに収納袋をかぶせるような形での使用というようなことをございまして、設置につきましては比較的簡単にどこにでも設置できるというようなことをございます。ただ、車椅子等からの移動というようなことに関しましては、やはり何らかの介助は必要になってくるのかなとは思っているところをございます。

○委員長（山田 仁） 2番、衣袋委員。

○2番（衣袋正人） 2点ほど質問いたします。

14ページの民生費の中で、心身障害者福祉費、この中、訪問入浴サービス72万円の増ということですが、これは障がい者の入浴サービスということで、増加傾向にあるかと思うのですが、現在の利用者数と、今後どのように変わっていくかの見通しなどありましたら、お聞きしたいと思います。

○委員長（山田 仁） 永沢健康福祉課長。

○健康福祉課長（永沢照美） お答えいたします。

訪問入浴サービスにつきましては、何らかの障がいがあつて、ご自身で入浴できない方につきまして、医師の指示の下、ご自宅に簡易浴槽を持ってきていただいて、看護師の対応の介助で入浴するという事業をございます。現在、町内では1名の方が利用されております。

今回、対象者の方が1名増えるということで補正をさせていただいたものです。対象者が増えた場合につきましては、また対応させていただきたいと考えております。

以上をございます。

○委員長（山田 仁） 衣袋委員。

○2番（衣袋正人） 続きまして、概要の6ページの共同調理場の備品購入への対応ということですが、かなり調理場が老朽化しているとお聞きしますが、そのほか改修とかの予定、また改修箇所があるかないか、お聞きしたいと思います。

○委員長（山田 仁） 橋本教育次長。

○教育次長（橋本達也） お答え申し上げます。

このたびの調理場の補正につきましては、備品費ということで上げさせていただいております。こちらの内容につきましては、給食を運ぶための食缶ですけれども、そちらで若干劣化が見られるものをございますので、そういった部分で更新を行うものをございます。

その他、施設等々につきましては状況を見ながら、今回の補正にはないのだけれども、修繕費も持っておりますので、状況に応じながら修繕対応をしているようなところをございます。

以上になります。

○委員長（山田 仁） 5番、佐々木委員。

○5番（佐々木誠司） 私からも1点だけお伺いいたします。

概要書6ページの災害復旧費に関してであります。こちらは林政のほうでお伺いしたいと思います。令和6年の豪雨災害の対応ということでありますけれども、今回災害復旧をされる部分の被災状況についてお伺いいたします。

○委員長（山田 仁） 永野林政課長。

○林政課参与（兼）課長（永野 徹） お答えいたします。

今回の林業の豪雨災害の関係については、7月25日にあった豪雨災害で、町内の林道をパトロールしたところ、7路線の林道において路面洗掘が見られております。ちょっと林道の洗掘があると、車両が通りにくいとか、そういうことがございますので、そこについては緊急に復旧をさせていただきたいという形で考えております。

洗掘の距離数を全部足し合わせると、約1,400メートルぐらいあるものですから、それを元に戻していくということを考えているところでございます。

○委員長（山田 仁） 佐々木委員。

○5番（佐々木誠司） ありがとうございます。この財源についてのご説明をお願いします。

○委員長（山田 仁） 永野林政課長。

○林政課参与（兼）課長（永野 徹） これについては今のところ起債を、農地、農業復旧事業債を使うことにしているのですけれども、これについてはもしかすると、ちょっと違う起債というものも使えるのかなと思っているのですけれども、それで一応やらせていただきたいと考えております。

○委員長（山田 仁） ほかにございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（山田 仁） 質疑終結と認めます。

○議第73号の説明、質疑

○委員長（山田 仁） 次に移ります。議第73号 令和6年度白鷹町介護保険特別会計補正予算（第2号）についてを議題といたします。

補正予算説明書の概要について説明を求めます。永沢健康福祉課長。

○健康福祉課長（永沢照美） ご説明申し上げます。

補正予算説明書の概要7ページをお開きください。

介護保険特別会計の概要でございますが、歳入歳出それぞれ6,897万2,000円の補正を行うものでございます。

概要及び説明につきましては、介護給付費準備基金への積立て及び人事異動に伴う職

員人件費の調整等を行うものでございます。

総務費246万4,000円の増額及び地域支援事業費72万2,000円の増額補正につきましては、主に人事異動に伴う人件費の調整でございます。

償還金につきましては、令和5年度の事業精算による国及び支払基金等への償還金1,457万6,000円の補正でございます。

以上でございます。

○委員長（山田 仁） 説明が終わりました。

歳入歳出一括して質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（山田 仁） 質疑なしと認めます。

○議第74号の説明、質疑

○委員長（山田 仁） 次に、議第74号 令和6年度白鷹町水道事業会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

補正予算説明書の概要について説明を求めます。鈴木上下水道課長。

○上下水道課長（鈴木克仁） ご説明申し上げます。

概要書7ページでございます。

水道事業会計収益的支出に934万3,000円、内容といたしましては、人件費の調整でございます。

収益的収入、収支、それぞれ記載のとおりでございます。

資本的収入30万9,000円の減額、こちらにつきましては管路耐震化事業等の財源の調整でございます。

出資金140万円、企業債80万円の減額、補助金90万9,000円の減額。

以上でございます。

○委員長（山田 仁） 説明が終わりました。

収益的収支、資本的収入一括して質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（山田 仁） 質疑なしと認めます。

○議第75号の説明、質疑

○委員長（山田 仁） 次に、議第75号 令和6年度白鷹町下水道事業会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

補正予算説明書の概要について説明を求めます。鈴木上下水道課長。

○上下水道課長（鈴木克仁） ご説明申し上げます。

概要書7ページでございます。

下水道事業会計収益的支出763万1,000円、内容といたしましては、令和5年度打切り決算に伴う費用等の調整、人件費の調整でございます。

収益的収入、支出につきましては、記載のとおりでございます。

資本的支出135万3,000円、こちらにつきましては絹市川のマンホールポンプ操作盤、こちらが7月25日豪雨の際、落雷により被害を受けたということで、災害復旧事業等への対応ということになります。なお、現在は当該設備について応急対策を実施した上で、稼働中でございます。

それぞれ資本的収入は、企業債が100万円、国庫補助金が200万円、資本的支出といたしましては、建設改良費135万3,000円でございます。

説明は以上でございます。

○委員長（山田 仁） 説明が終わりました。

収益的収支、資本的収支一括して質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（山田 仁） 質疑なしと認めます。

○議第76号の説明、質疑

○委員長（山田 仁） 続いて、議第76号 令和6年度白鷹町立病院事業会計補正予算（第1号）について議題とします。

補正予算説明書の概要について説明を求めます。片山病院事務局長。

○病院事務局長（片山正弘） ご説明申し上げます。

補正予算説明書の概要7ページ下段をご覧ください。

病院事業会計収益的支出969万2,000円でございます。主な内容といたしましては、制度改正に伴う児童手当の拡充等への対応及び人事異動に伴う人件費の調整を行うものでございます。

以上でございます。

○委員長（山田 仁） 説明が終わりました。

収益的収支一括して質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（山田 仁） 質疑なしと認めます。

以上で質疑を終了します。

○議第72号の採決

○委員長（山田 仁） これより採決を行います。

この採決は起立によって行います。なお、起立されない方は否決とみなします。

初めに、議第72号 令和6年度白鷹町一般会計補正予算（第3号）について採決い

たします。

議第72号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

[賛成者起立]

○委員長（山田 仁） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第73号の採決

○委員長（山田 仁） 次に、議第73号 令和6年度白鷹町介護保険特別会計補正予算（第2号）について採決いたします。

議第73号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

[賛成者起立]

○委員長（山田 仁） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第74号の採決

○委員長（山田 仁） 次に、議第74号 令和6年度白鷹町水道事業会計補正予算（第1号）について採決いたします。

議第74号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

[賛成者起立]

○委員長（山田 仁） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第75号の採決

○委員長（山田 仁） 次に、議第75号 令和6年度白鷹町下水道事業会計補正予算（第1号）について採決いたします。

議第75号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

[賛成者起立]

○委員長（山田 仁） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第76号の採決

○委員長（山田 仁） 次に、議第76号 令和6年度白鷹町立病院事業会計補正予算（第1号）について採決いたします。

議第76号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（山田 仁） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○委員長（山田 仁） 以上で、本予算特別委員会に付託された補正予算5件の審査が終了いたしました。

なお、委員会審査結果報告については委員長に一任いただきたいと存じますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○委員長（山田 仁） ご異議がないので、審査結果報告は委員長に一任されることに決しました。

○閉会の宣告

○委員長（山田 仁） これをもって予算特別委員会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

閉 会

〈午前11時02分〉